

1. 科目名（単位 数）	音楽実践演習Ⅱ（2単位）	3. 科目番号	SJMP2145
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		
4. 授業形態	演習、講義，実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「音楽」「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」を履修していること。		
7. 講義概要	「音楽実践演習Ⅱ」では「音楽Ⅱ」で学んだことを実践する力をさらに高めるための演習を行う。リズム活動で使用する楽曲の演奏や動きに合わせ即興的に演奏する方法を実践的に学ぶ。わらべうたに関する理解を深め、歌い遊べるわらべうたのレパートリーを増やす。リズム楽器をはじめとする，保育活動で使われる楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。弾き歌いの演奏技術に関しては継続的に演奏力を磨く。手遊び歌のレパートリーを増やし手遊び歌はわらべうた同様、正しい音程で歌えるように演習を重ねる。		
8. 学習目標	1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動ける。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる力をつける。 3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。 4. 弾き歌いの演奏技術を高める。		
9. アサインメント （宿題）及びレポ ート課題	『・授業内で扱う内容（リズム譜、手遊び歌、子どもの歌の歴史、合奏等）を、よく復習し、実際の楽曲の内容と照らし合わせて学修しましょう。 ・第8回及び15回の授業で発表会を行います。この発表会を1度でも欠席するとI評価になりますので、必ず出席してください。		
10. 教科書・参考 書・教材	『新刊これだけは歌って弾こう子どもの歌70』共同音楽出版社 その他「音楽実践演習」「音楽Ⅱ」で使用したものを継続使用します。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動けるか。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。 3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。 4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表		

第7回	・弾き歌い曲レッスン⑥（子どもの歌） ・わらべうた③ ・合唱と手話③	事前学習	・わらべうたの復習 ・合唱と手話の復習 ・任意の楽曲の予習
		事後学習	・発表する楽曲の復習
第8回	中間発表	事前学習	・発表する楽曲の予習
		事後学習	・任意の楽曲の予習
第9回	・弾き歌い曲レッスン⑦（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(種類と奏法)①	事前学習	・任意の楽曲の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・楽器作成について、準備をする
第10回	・弾き歌い曲レッスン⑧（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(作成・合奏)②	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・楽器作成について、仕上げのための準備をする
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第11回	・弾き歌い曲レッスン⑨（子どもの歌） ・簡易楽器・手作り楽器(作成・合奏)③	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・合奏がスムーズに進むようによく練習しておく
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第12回	・弾き歌い曲レッスン⑩（子どもの歌） ・アンサンブルの実践①	事前学習	・任意の楽曲の予習
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習 ・担当楽器の譜面を理解する
第13回	・弾き歌い曲レッスン⑪（子どもの歌） ・アンサンブルの実践②	事前学習	・任意の楽曲の予習 ・合奏がスムーズに進むようによく練習をしておく
		事後学習	・任意の楽曲の復習と次の曲の予習
第14回	・弾き歌い曲レッスン⑫（子どもの歌） ・アンサンブルの実践③	事前学習	・合奏がスムーズに進むようによく練習をしておく
		事後学習	・発表する楽曲の復習
第15回	期末発表	事前学習	・発表する楽曲の予習
		事後学習	授業で学んだことをまとめておく